

経済学委員会 IEA 分科会 (第24期、第2回)

議事録

出席者：大塚啓二郎、市村英彦、グレーヴァ香子、青木玲子、竹内あい（スカイプ参加）、西條辰義（スカイプ参加）

日時：平成30年4月24日（火） 16時40分～17時35分

会場：日本学術会議 6-A（1）会議室

1. 今年度の基本方針について

日本経済学連合と IEA 分科会の経緯について西條委員から話があった。
日本経済学会に提案して、同会内に IEA 担当委員のようなものを作ってもらい
その方が IEA 分科会に何らかの参画ができれば良い関係が構築できるのではな
いか。（西條委員）

2016 年の日本学術会議のヒヤリングにより無事承認されたので、2019 年まで
は IEA 分科会の活動は保証されている。（グレーヴァ委員）

これまでの IEA における日本人経済学者の活動が、一部の人だけで行われてい
るように見えるので、IEA 分科会が他の人たちを組織的に巻き込むか、又は日
本経済学会などの組織が正式に関与する形が望ましい。（市村副委員長）

IEA 分科会として大塚委員長を中心として IEA と緊密に連絡を取って、今後日
本の経済学者がより有益に関われる方向をさぐる。

2. IEA Roundtable 開催について

2017 年の Council meeting（メキシコ）に大塚委員長が出席。Executive
committee の決定事項を承認するだけだったので、積極的に参加するなら
Executive committee member になるべき。その布石としても Roundtable を
開催したらどうか。2019 年 2 月を予定。資金源は Asian Development Bank を
予定。IEA の会長 Basu 教授に連絡したところ、会長本人は来られないが、理
事に準ずる方を参加させてもらえる予定である。

日本学術会議の後援を申請したい。（日本学術会議から資金は出ない。）

3. その他

将来の IEA World Congress にどのように参画するか。IEA 分科会の戦略を決めておくべき。(西條委員)

IEA の理事の選考方法を調べる。(大塚委員長)

2019 年 2 月第 2 週ごろに次回の分科会開催を予定し、そのときに長期的方針を議論する。